

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー

# 新興国ハイインカム 株式ファンド

米ドル建 毎月分配型 クラスM受益証券

ルクセンブルグ籍契約型外国投資信託



## 交付運用報告書

作成対象期間 第12期

(2018年1月1日～2018年12月31日)

第12期末	
1口当たり純資産価格	14.25米ドル
純資産総額	17,840,897.37米ドル
第12期	
騰落率	-14.68%
1口当たり分配金合計額	2.60米ドル

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

### その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド(以下「トラスト」といいます。)のサブ・ファンドである新興国ハイインカム株式ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第12期の決算を行いました。

ファンドの目的は、主として、新興国に拠点を置き、かつ/または新興国において主な活動を行う企業により発行される世界の高配当利回りの株式および株式関連証券(転換社債など)に投資することにより、安定した分配金を支払うことです。かかる企業は、主に比較的大規模な企業となる予定です。第二の目的は、投資元本の長期的な成長を達成することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

管理会社

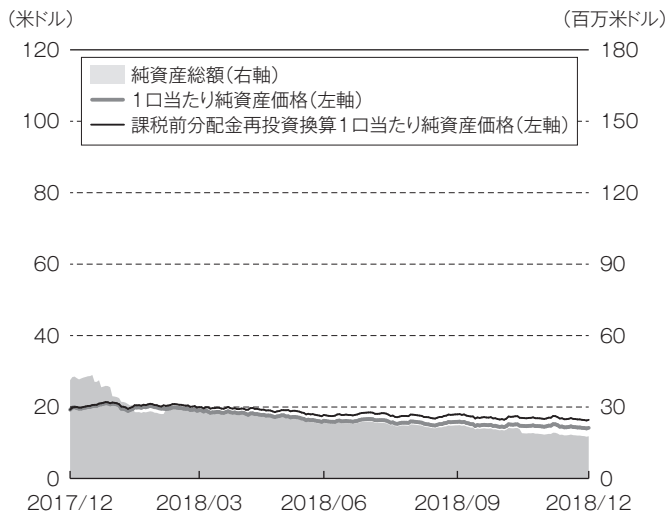
**ピクテ・アセット・マネジメント**  
(ヨーロッパ) エス・エイ

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**

## 《運用経過》

### 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第11期末の1口当たり純資産価格：

19.24米ドル

第12期末の1口当たり純資産価格：

14.25米ドル

第12期中の1口当たり分配金合計額：

2.60米ドル

騰落率：

-14.68%

#### ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

セクター別では、一般消費財・サービスと生活必需品の銘柄選択がプラスとなりましたが、情報技術の銘柄選択によるマイナス分で相殺されました。さらに、情報技術のアンダーウェイトもマイナスとなりました。国別では、配当水準がファンドの投資方針に沿った水準を下回る一部の中国銘柄を組入れていなかったことにより、相対リターンが低迷しました。

\* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

\* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

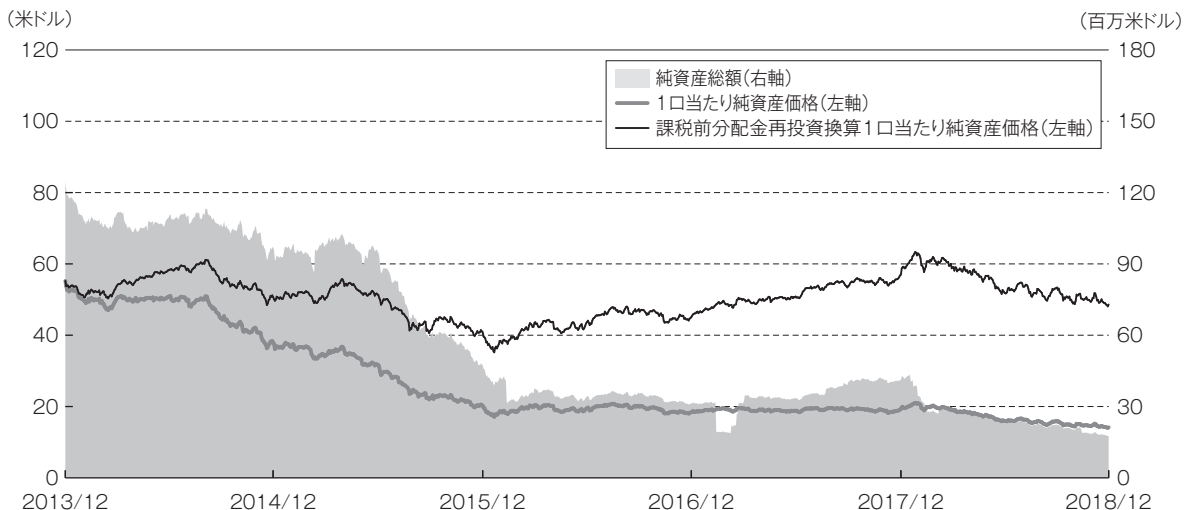
\* ファンドにベンチマークは設定されていません。

### 【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬 (投資顧問報酬を含みます。)	平均純資産総額の年率0.75%	ファンドの投資についての助言業務およびファンドの日々の運用業務
業務報酬	平均純資産総額の年率0.10%	ファンド資産の運用・管理、受益証券の発行・買戻しならびにファンドに関する登録・名義書換、管理および支払事務代行業務
保管報酬	平均純資産総額の年率0.25%	ファンドの資産の保管業務
販売報酬	関係する四半期における平均純資産総額の年率0.70%	口座内でのファンドの管理および事務手続き、運用報告書等各種書類の送付、購入後の情報提供等
代行協会員報酬	関係する四半期における平均純資産総額の年率0.10%	1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を販売会社に交付する等の業務
その他の費用(当期)	0.28%	監査費用およびその他の費用、未払年次税、取引手数料等

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

## 【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第7期末 (2013年 12月末日)	第8期末 (2014年 12月末日)	第9期末 (2015年 12月末日)	第10期末 (2016年 12月末日)	第11期末 (2017年 12月末日)	第12期末 (2018年 12月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	55.25	38.03	20.27	18.40	19.24	14.25
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	13.80	12.30	3.80	3.60	2.60
騰落率 (%)	—	-8.23	-19.46	10.43	26.40	-14.68
純資産総額 (米ドル)	124,682,675.00	96,973,799.87	47,346,179.52	31,221,267.20	41,271,319.96	17,840,897.37

(注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 【投資環境について】

当期、MSCIエマージング・マーケット指数(日本円ベース)により評価した場合、新興国市場の株価は下落しました。

当期の新興国市場の中では南米の下落幅が相対的に小さな程度に留まりました。その主たる要因は小幅な下落に留まったブラジル株式で、ジャイル・ボルソナロ新大統領による市場重視の政権への期待感が株価に反映されました。一方、メキシコは選挙を巡る不透明感や、新政権が従来とは異なる経済政策をどこまで進められるかという懸念もあり、非常に厳しい1年となりました。

アジア(日本を除く)も厳しい1年でした。貿易摩擦の緊張の高まりや、中国政府の金融引き締めスタンスにより中国の消費が弱まったことなどから、アジア(日本を除く)市場が値下がりしました。アジア(日本を除く)の中では、2019年5月の選挙へ向けて不透明感があったものの、インドは比較的小幅な下落に留まりました。インドはグローバルに統合された経済圏から得る利益が比較的小さく、この点と構造的な成長見通しが相俟って、他のアジア(日本を除く)の国と比べて相対的に有望な投資対象地域であると捉えられ始めました。ASEANでは、多くの国で汚職疑惑等の問題が生じたことからリターンは低迷しました。

EMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ)もアンダーパフォームでしたが、国毎にかなりばらつきがありました。ロシア市場が比較的小幅な下落に留まったのに対し、経常赤字や通貨安、政治的支援を巡る懸念など、年間を通じて政治の不透明感や経済の混乱が響き、トルコ株式は大幅に下落しました。

セクター別では、エネルギーと公益事業が市場全体をアウトパフォームしたのに対し、一般消費財・サービスとコミュニケーション・サービスは不振でした。

## 【ポートフォリオについて】

暦年のファンドの日本円ベースでのリターンはマイナスでしたが、MSCIエマージング・マーケット指数に対してはアウトパフォームとなりました。

ファンドの投資対象は相対的に配当利回りが高い銘柄です。当期はテンセント、ナスパースやバイドゥなど無配または配当利回りが非常に低い銘柄の多くが低調な推移となりましたが、これらの銘柄は配当利回りがファンドの投資方針に沿った水準に届かず、組み入れてはいませんでした。これらがすべてコミュニケーション・サービスのセクターの銘柄だったので、同セクターのアンダーウェイトは配分効果から見てプラスの要因となりました。

不動産の組入れも、銘柄選択を中心に相対リターンを押し上げました。ファンドは、投資適格格付を付与され、競合他社よりも低い資金調達コストにより利益が拡大している優良な不動産開発業者や、業績の伸びが非常に良好で、また、財務状態が健全な企業を組入れしました。

相対リターンのマイナス要因となった組入れに目を転じると、情報技術の組入れが不振でした。一部の銘柄(台湾のハードウェア企業等)は好調なパフォーマンスを収めました。スマートフォンに関連銘柄が大幅に下落しました。しかしながら、何より株価が割安な水準まで下落したという点から投資妙味があると判断し、保有を続けました。

## 【分配金について】

当期(2018年1月1日～2018年12月31日)の1口当たり分配金(税引前)は下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2018年1月9日	19.69	0.3 (1.50%)	1.72
2018年2月6日	19.52	0.3 (1.51%)	0.13
2018年3月6日	19.56	0.3 (1.51%)	0.34
2018年4月6日	18.72	0.3 (1.58%)	-0.54
2018年5月9日	17.81	0.3 (1.66%)	-0.61
2018年6月6日	17.36	0.3 (1.70%)	-0.15
2018年7月6日	15.83	0.3 (1.86%)	-1.23
2018年8月7日	16.32	0.3 (1.81%)	0.79
2018年9月6日	15.18	0.3 (1.94%)	-0.84
2018年10月9日	15.19	0.3 (1.94%)	0.31
2018年11月6日	15.04	0.3 (1.96%)	0.15
2018年12月6日	14.49	0.3 (2.03%)	-0.25

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) =  $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 =  $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3)2018年1月9日の直前の分配落日(2017年12月6日)における1口当たり純資産価格は、18.27米ドルでした。

## 《今後の運用方針》

ファンドは、今後も投資方針に従って運用を行っていきます。

## 《お知らせ》

該当事項はありません。

## 《ファンドの概要》

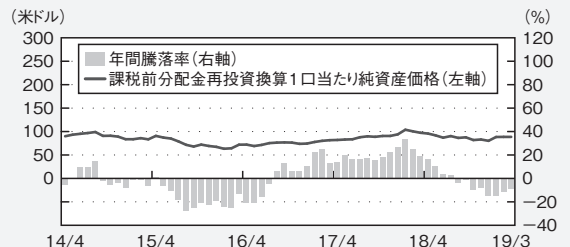
ファンド形態	ルクセンブルグ籍契約型公募外国投資信託
信託期間	無期限
繰上償還	①管理会社と保管受託銀行との間の合意により、いつでもトラストを解散し、またはファンドをいつでも清算することができます。 ②ファンドの純資産が300万米ドルを下回った場合、管理会社は、当該ファンドを解散する予定です。 ③受益証券の純資産総額が1,500万米ドルを下回った場合、管理会社の取締役会は、受益証券を強制的に買い戻すことを決定することができます。
運用方針	ファンドの目的は、主として、新興国に拠点を置き、かつ／または新興国において主な活動を行う企業により発行される世界の高配当利回りの株式および株式関連証券（転換社債など）に投資することにより、安定した分配金を支払うことです。第二の目的は、投資元本の長期的な成長を達成することです。
主要投資対象	主として、新興国の高配当利回りの株式
ファンドの運用方法	ファンドは、特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します。ファンドは、幅広い投資対象から、魅力的な高配当利回り銘柄に絞り込み投資を行います。
主な投資制限	①管理会社は、同一発行体の有価証券のファンドの保有が、ファンドの純資産総額の10%を超える場合は、ファンドのために、当該発行体の発行する有価証券に投資することができません <sup>(注)</sup> 。 ②上記①にかかわらず、投資顧問会社は、ファンドのために、通常、単一の発行体の有価証券につき5%を超えて取得しません。 ③管理会社は、ファンドのために、公認の証券取引所または他の規制ある市場で取引されていない有価証券にファンドの純資産総額の10%を超えて投資してはなりません <sup>(注)</sup> 。かかる制限は短期金融商品には適用されません。 (注)①および③の制限は、EU加盟国、経済協力開発機構加盟国もしくはその地方公共団体またはEUの公的国際機関(地域内か、または世界的規模かを問いません。)が発行または保証する有価証券には適用されません。 この他の投資制限については目論見書をご覧ください。
分配方針	管理会社は、毎月、投資による純利益および純実現キャピタル・ゲインから分配を行うことができ、分配の合理的水準を維持するために必要な場合、未実現キャピタル・ゲインおよび資本からも分配を行うことができます。分配は、毎月、各月の5日(5日が取引日ではない場合は翌取引日)の営業終了時に、受益者に対して宣言される予定です。

## 《参考情報》

### 【ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

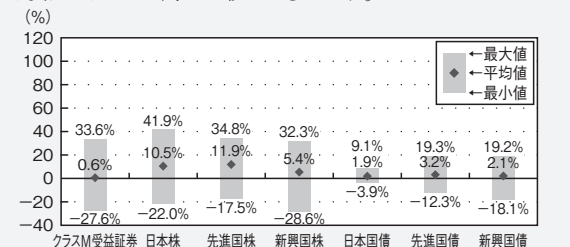
#### ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2014年4月～2019年3月の5年間に於けるファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格(各月末時点)と、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです。



#### ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



出所：Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

※課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。以下同じです。

※ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。

※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

※ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率は、受益証券が米ドル建てであることから、米ドル建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

#### ●各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・BBGバークレイズE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、ファンドは、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

## 《ファンドデータ》

### 【ファンドの組入資産の内容】

(第12期末現在)

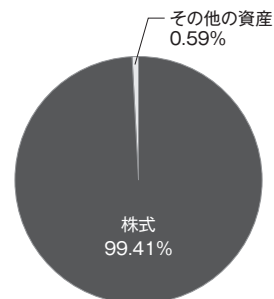
#### ●組入上位資産

(組入銘柄数：106銘柄)

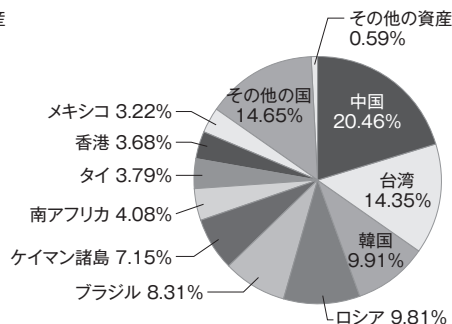
上位10銘柄	組入比率(%)
SAMSUNG ELECTRONICS PFD -NVTG-	4.55
CHINA CONSTRUCTION BANK 'H'	4.24
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTUR.	3.09
CNOOC	2.78
ITAUSA INVESTIMENTOS ITAU PFD	2.57
LUKOIL OIL COMPANY	2.20
CATHAY FINANCIAL HOLDING	2.07
SHINHAN FINANCIAL GROUP	1.84
CHINA MERCHANTS BANK 'H'	1.74
INDUSTRIAL AND COMM. BK CHINA 'H'	1.54

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

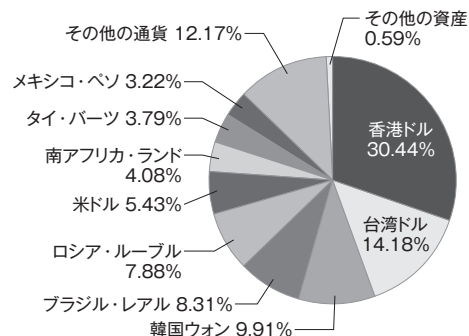
#### ●資産別配分



#### ●国別配分



#### ●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### 【純資産等】

項 目	第12期末
純資産総額	17,840,897.37米ドル
発行済口数	1,251,600口
1口当たり純資産価格	14.25米ドル

第12期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
289,080 (289,080)	1,182,559 (1,182,559)	1,251,600 (1,251,600)

(注)( )の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。